

『褐色エルフ未亡人のエッチな恩返し(仮)』

登場人物

《主人公》

- ・一般的な成人男性。
- ・ちよっと女性に免疫が無い。

《褐色エルフ未亡人》

- ・主人公の部屋に越して来た巨乳でおっとりした褐色未亡人エルフ。
- ・母性のあるとおっとり痴女系。
- ・人間界での常識などを主人公に教えてもらった恩があり、その後も何かと世話を焼いてくる。
- ・100年以上性交渉が無かったため、一度行為を開始してからは女の本性に火がついてしまう。

◆設定

- 基本的には、ママ味と色気のあるダークエルフの典型みたいな感じです。
- ママ味を強めに「今日もたっぷり甘えさせてあげるわね♡」みたいな雰囲気です。

18	
19	
20	
21	
22	
23	◆トラック名
24	01:『全身ヒーリングリップから毒抜きフェラ』
25	◆トラック説明
26	場所:アパートの寝室
27	キャラ:ミルム(仮)
28	マイクの位置:正面
29	<p>・病気で寝込んでいる主人公の世話をしているミルム。 会話で世界観と状況説明。</p> <p>SE:ベッドサイドからのぞき込む衣擦れの音</p> <p>「まゝまゝ、こんなに顔を赤くして大丈夫なの?」</p> <p>・間</p> <p>「いいからいいから、お隣さんなんだし遠慮しないで♪」</p> <p>・間</p> <p>「水臭いことは言いつこなしよ。困った時はお互い様でしょ?」</p> <p>・ミルム、ベッドサイドに座り直して会話。</p> <p>SE:ベッドサイドに座り直す音</p> <p>「ええ:アナタには日本での慣れない生活を助けてもらってるから」</p> <p>「ほら、私ってダークエルフでしょ?」</p> <p>「向こうでは冷たい目で見られることが多いからこの世界に来ただけど:」</p> <p>「まさかそんな私に、こんな優しくしてくれる人がいるなんて信じられなくて」</p> <p>「この世界に来てアナタに会えて、本当に感謝してるの:」</p> <p>「だからこれは、私からの恩返しよ♪」</p> <p>・布団をめくって、主人公の上に跨るミルム。</p> <p>SE:布団をめぐる音</p> <p>SE:主人公に跨る音</p> <p>「ええ、お任せされちゃうわ♪」</p>
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	<p>⑧中</p>
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	⑧中→⑥中

60
61
62
63
64
65 ⑥中↓⑥中下
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79 ⑥近
80
81
82
83 ⑥中下
84
85
86
87
88 ⑥近
89
90
91
92
93
94
95
96 ⑥近↓⑥接上
97
98
99
100
101 ⑥接↓⑥近

・主人公に跨ったままパジャマを脱がしていく。

SE：パジャマを脱がす音

「さ、汗を拭いて着替えましょうね」

・拒む主人公。

マムムーブで優しく叱りながら服を脱がして体を拭く。

SE：ベッドの上でバタバタする音。

・喋りながら前後左右に振ってください

「コラッ、暴れないの！ 病人なんだから大人しくしなさい！」

・押さえつける。

SE：ギシッとベッドが軋む音。

「まったくも、今さら何を恥ずかしがってるのかしら…え？」

SE：体を拭く音。

「あらごめんなさい！ 人間はこの歳でも成人だったのよね！」

「300年以上生きてる私からしたら、まだほんの子供みたいなんだもの」

SE：ズボンに手をかける音

「だから気にしないで、今度はズボンを脱ぎ脱ぎしましょうね」

・再び抵抗する主人公の額にちゅーして黙らせる。

SE：抵抗する衣擦れの音

「も、まだ抵抗するつもりなの？ 暴れるお子ちゃまにはこうよ！」

「ちゅーっ♡」

・驚く主人公だったが一瞬体が軽くなるのを感じる。

魔力によるヒーリングで、本当なら直接口するのが一番魔力を伝えやすいと説明。

「うふふ…急に大人しくなったわね、別にキスは初めてでもないんでしょ？」

102	
103	・間
104	
105	「あら、そうなの？ そんなことより体の具合はどうかしら？」
106	
107	・間
108	
109	「でしょ？ 実は今のキスはエルフのヒーリング術なのよ♪」
110	
111	・間
112	
113	「ええ、口で直接触れるのが一番魔力を伝えやすいのよ」
114	「わかったらもう少し大人しくしてましようね」
115	
116	・ベッドに押し倒して全身リップ。
117	頬っぺた、クビ、胸、等々、次第に興奮してくるミルム。
118	
119	SE：ベッドの上を移動する音
120	
121	⑥近→⑤近下
122	
123	⑤近下→
124	⑥接下
125	
126	
127	⑥接下→⑥接
128	
129	
130	⑥接→⑥接下
131	
132	
133	⑥接下→
134	④接下
135	
136	④接下→
137	⑧接下
138	
139	⑧接下→⑥中
140	
141	
142	
143	

・間

「あら、そうなの？ そんなことより体の具合はどうかしら？」

・間

「でしょ？ 実は今のキスはエルフのヒーリング術なのよ♪」

・間

「ええ、口で直接触れるのが一番魔力を伝えやすいのよ」

「わかったらもう少し大人しくしてましようね」

・ベッドに押し倒して全身リップ。

頬っぺた、クビ、胸、等々、次第に興奮してくるミルム。

SE：ベッドの上を移動する音

「あらあら、体中がこんなに火照って…今楽にしてあげますからね」

・首筋付近で左右に振りながら

「あむっ…ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ…ちゅるう…」

・顔付近で左右に振りながら

「だってまだほっぺもこんなに赤いんだもの…ちゅっ、ちゅっ」

・胸元で左右に振りながら

「あらあら…首も胸元もこんなに…ちゅっ…れろお…ん」

・乳首を舐める

「れる、ちゅっ…むちゅっ…れろ…れろ…ちゅっ、ちゅるっ」

「ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ…あむ、れろ、れろお…」

「ふあっ！ ふう…ふう…」

・最後にもう一度口移しで一気に魔力を流し込むと伝え
怖がらないで… 私とじゃ嫌？ など聞いて間を入れてから濃厚なベロちゅー。

144	
145	
146	⑥中↓⑥近
147	
148	
149	
150	
151	
152	
153	⑥近↓⑥接
154	
155	
156	
157	
158	
159	
160	⑥接↓⑥近
161	
162	⑥近↓⑦接
163	
164	
165	
166	
167	⑦接↓⑥近
168	
169	
170	
171	
172	
173	
174	⑧近
175	
176	
177	
178	
179	
180	
181	⑧近↓⑨接
182	
183	
184	
185	

「あとは私の魔力を一気に体の中に送り込めば準備完了よ？」

「どこについて、そんなのわかってるでしょ？ ほら、怖がらないで」
「それとも…私とじゃ嫌なのかしら？」

・間

「クスッ…よかった…私が初めての相手になれるなんて嬉しいわね」

「さあ、目を閉じて…んあ…はあ…はあ…ちゆるっ♡」
「むちゅうっ…ちゆるうつ、ちゅっ！ れろお…れろれろお…ちゆるん！」
「そう、舌を絡ませるようにして…れろお…そう…れろれろおん」
「れろっ、ぐりゅうん…るるるおん…れろ、くりゅりゅっ…ぐりゅうん！」

・主人公の勃起したちんぽ確認。

「ちゆるっ…ふう…ふう…ダメ、まだ終わりじゃないんだから」

・股間のほうを向いて

「だから、これは準備って言ったでしょ？ さて、こっちの様子は」

SE：セリフ「あ、コラッ！」で抵抗する音

・股間のほうを向いて

「あらあら、まあまあ！ こゝんなに大きくなって…あ、コラッ！」

・再び抵抗する主人公。

SE：少し抵抗する音、ゆっくりした手コキの音

「だから逃げないの！ 全然恥ずかしがることじゃないんだから」
「まあ、すごい…擦る度にどんどん硬く、大きく硬くなって」
「でもこんなに大きいと…んッ…片手だけじゃ持て余しちゃうわね」

・溜まった毒素をここに集めてから絞り出すのだと耳元で説明。

これは治療だから恥ずかしがらなくてもいいのだと念押ししながら続行。

「もゝ、いい加減にしないと『めっ！』ってするわよ？」

「いい？ これは治療のためにしてあげてることなのよ？」

「体内に溜まった悪い毒素を口から押し込んで、おちんちに全部集めて…」

SE：少し早めの手コキの音

「はあ…はあ…一気にぜ～んぶ…んふう…体内から…排出するの」
「だからこのまま私に…んッ…全部任せなさい…んッ…はあ～っ」
「ふう…ふう…ふう…ふう…んッ、んんッ…あはあ…ふう…ふう…」

・耳に息を吹きかけながら手コキ続行。

「うふふ…そんなにビクビクされたら…ちよつとイジメたくなっちゃうかも」
「ふうっ…ふう…っ♡ ふうっ、ふうっ…ふう…っ♡」
「あら、ごめんなさい！ 可愛くってつい…ふう…っ♡」

SE：手コキの音に汁気が混じる

「あらあら、もうこんなにおちんちんから涎を垂らして…うふふ♪」
「え？ もう出ちゃいそうなのね？ だったら仕上げに入るわよ」
「ええ…最後は私のお口で直接受け止めて浄化するの」
「ダーメ！ これが正しい治療方法なんだから♪」

・股間に移動してフェラ開始。

SE：ベッドの上を移動する音

「うふっ…まずは漏れ出た分を…れろお…れろ、れろろお…ん」

「ちゅっ、ちゅるっ…れろれろお…あん！ まだこんなに溢れてくるのね」

「ちゅっ…ちゅっ…舐めても舐めても…むちゅっ…キリが無いわよ」

「むちゅっ、ちゅうっ…ちゅっ、ちゅう…っ…ぷはあ！」

「舐め取るだけじゃキリが無いわね…んあ…はむうっ♡」

「ちゅっ、ぢゅるう…っ…むちゅっ、ぢゅるるっ…ぢゅるう…っ…」

「ふうッ…ふう…ッ…お口の中…おちんちんでいっぱいよお？」

・主人公を子供のように気遣いながらの濃厚フェラ。

「初めてお口で啜えらるてるのが…ちゅっ…そんなに怖いのお？」

「うふっ、そうね…ちゅ…言うこと聞かないなら食べちゃおうかしら♪」

「ほら、こんな風に…ふうッ、ふうッ…はむっ！ はむはむっ…もごお♡」

「もむっ…もむっ…ぢゅるるう…はむっ、はむっ、かぷかぷかぷう♡」

「大丈夫…こんなに可愛いものを食べたなんてしないから…ちゅっ♡」

「遠慮しないでおばさんのお口に…かぷっ、むちゅっ…全部出してね♡」

「ちゅっ、ちゅっ♡ ぢゅろろ…っ…ちゅちゅっ♡ ぢゅろっ、ぢゅろおっ♡」

「おかしいわね…ぢゅるるっ…まだ出ないのかしら…ぢゅろっ♡ ぢゅろっ♡」

「切なそうな顔も可愛いけど…そろそろ楽にしてあげねきゃね♪」

208 ⑨接→⑥中→
209 ⑥接下

・なかなか出てこないで玉を啜えて絞るように手コキ。

「玉々をお口に啜えてゝゝむっちゅうゝゝゝっゝちゅぽお♡」

SE：汁気のある手コキの音

「お口の中で転がしてマッサージしながらゝゝしこしこしてあげるわねゝ」

「はむ、むちゅっ、もごおゝゝころころおゝれりよりよおんゝれりよん♡」

「精子と悪い気が溜まってゝゝるろっ、るろっゝ玉々がパンパゝン♪」

「るろおん、るろおんゝゝころころおゝるりよりよんゝゝころおん♡」

「ほら、出して♡ 玉々絞ってあげるからあゝむちゅっ、もちゅうっ♡」

「くりゅっ、くりゅりゅうん♡ そろそろ出そう？ ん、わかったわ♡」

・龟头舐め手コキしながら、悶える主人公を慰める感じでフィニッシュ体勢へ。

SE：汁気のある激しい手コキ音

「では改めてお口でゝゝむちゅうっ！ ぢゅっ、ぢゅっちゅうゝゝゝっ!!」

「仕方ないでしょ？ ぢゅちゅっ！ こうしないとゝ洩れちゃうんだものお」

「ぢゅっ、ちゅっ♡ ちゅっ、ぢゅちゅうゝゝゝっ♡ ぢゅっ、ちゅううっ♡」

「いいわよゝゝこの好きな時にゝぢゅろろおゝお口にたっぷりゝ出してえ♡」

「ぢゅるるゝゝゝっゝぢゅぽっ！ ぢゅろろおゝゝゝっゝちゅるん♡」

・手コキデープフェラで口内射精。

「ふうッ、ふうッゝそれじゃ、最後の仕上げにいくわよゝゝせゝの！」

「ぐっぽ♡ ぐっぽ♡ ぐっぽ♡ ぐっぽ♡ ぐぼぽっゝぐちゅぽおっ、ぐぼっ♡」

「むちゅちゅちゅうゝゝゝっゝぐっぽお♡ ぐぼっ、ぢゅるぼっゝぐぼお♡」

「いいって言ってるでしょ？ ほら、出して♡ 出して♡ 出してえ♡」

「くぼ、くぼ、くぼ、くぼ、くぼ、ぢゅるるゝゝゝっゝ」

「んぷっ！ 精子が登り切ってゝおちんちん、太おゝんッ、熱う♡」

「ぐぼぐぼぐぼぐぼぐぼお♡ くぼくぼくぼくぼくぼおゝゝゝんぷっ♡」

・射精

SE：ギシッとベッドが軋む音&射精音

「んぷうっ?! おぶっ、ふッ！ んぶっ、ううゝゝッゝ♡」

・精飲して、悪い気は体の中で浄化するのだと伝えるミルム。

SE：追加の射精音

「んッ、ぷっ！ ふうッ！ ふうッ！ んふう〜…」

「くちゅっ…くちゅっ…うん、これなら浄化できそうね…んッ…ごっくん♡」

「ぷはあ！ はあ…はあ…え？ だってこれは悪い気なんだから」

「全部残さず飲み込んで、私の中で浄化してあげなきゃ〜」

・再びちんぽに吸い付て尿道に残った精子を吸い出す。

SE：くちゅっとちんぽを持つ音

「あら、そうだったわ。まだ中に残ってるかもしれないわね…はむっ！」

「ちゅっ…ちゅっ…ちゅう〜っ…ちゅちゅっ！ ぷはあ♡」

・すっかり体調が戻った主人公。ミルムにお礼を言う。

まだ無茶しちゃダメだと言いながら、汗をかいたからとお風呂へ誘う。

SE：主人公に跨ってズリズリと移動してくる音

「どうかしら？ だいぶ楽になったんじゃない？」

「よかったわ〜…あら、そんな！ お礼なんていいのよ〜」

SE：ぺちっと汗だくの体に触れた音

「それよりまた汗をかいたみたいだから、お風呂で洗ってあげるわね♪」

312		
313		
314		
315		
316		
317		
318		
319		
320		
321		
322		
323		
324		
325		
326		
327		
328		
329	⑥中上	
330		
331		
332		
333		
334		
335		
336		
337		
338		
339		
340		
341		
342		
343		
344	⑨中上→③接	
345		
346		
347		
348	③接→⑥近	
349		
350		
351		
352		
353		

【未亡人褐色エルフママの甘々エッチな恩返し(仮)】

◆トラック名

02:『お風呂で抱き着き囁き手コキからムラムラ褐色エルフ主動で生本番』

◆トラック説明

場所:アパートのお風呂

キャラ:ミルム

マイクの位置:腰の位置

・前方向からシャワーでお湯をかけてあげてる。

主人公が目やり場に困るといいうので背中側へ移動。

SE:頭を洗う音

「ふんふんふん♪」

SE:シャワーの音

「それじゃ、流すわよ…ちゃんと目をつむって…はい、頭はおしまい」

SE:濡れた腕に触る音

「次は腕を上げて…:どうしたの? もう目を開けても平気よ?」

・間

「え〜? 別に私はおっぱいくらい見られても気にしないわよ〜」

・近付いていたずらっ子っぽく囁き。

「それとも、私みたいなおばさんエルフの褐色おっぱいに興味でもあるの?」

・間

「はいはい、もう言わないわよ。からかってごめんなさいね〜」

SE:濡れた床の上を移動する音

354 ⑥近
355 ↓⑥近上
356 ↓③近上
357 ↓⑫近
358
359
360
361
362
363
364
365 ⑩近
366
367
368 ⑩近→⑨接
369
370
371
372
373
374
375
376
377 ⑨接→⑫接
378
379
380
381
382
383 ⑫接→③接
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395 ③接→⑫接

・回り込んでしゃがむ

「背中に回ればいいのね？ もう、おませさんだから…クスクス♪」

・腕などを洗いながら会話。恥ずかしがる主人公。

自分のほうが200歳以上も年上のおばさんだから気にしないでと。

SE:腕を洗う音

「はい、右手を上げてね…ごしごし…ごしごし♪」

「うふふ…こんなおばさん相手に緊張しなくていいでしょ…?」

「あら、そうだったわね。おっぱいが気になるお年頃だったのよ♪」

・背中洗い開始不思議な感触を疑問に思う主人公。

実はおっぱいで洗っていた。

SE:背中を洗う泡音(乳房で洗っているのでタオルの音ではないです)

・上下に振りなが

「はい、そろそろ背中を洗うわよ…んふう♡ よいしょ…よいしょっ♪」

「え？ そうね…正確な歳なんて…んッ…もう忘れちゃったけど」

「多分アナタが考えてるより…はるかに…はあ、はあ…おばさんだからあ」

「ふう…ふう…ふう…え？ 背中がどうかしたの…?」

「ああ、だって今背中を洗ってるのは…私のおっぱいだもの♡」

・ちょっと暴れる主人公。おさえて続行。

SE:暴れる音&クチュクチュと肌が触れ合う音

・③接で離れたり少し顔を振ったり。

「あん！ 逃げちゃダメッ…おっぱいが背中からこぼれちゃうでしょ」

「そんなに暴れたら、先っぽが擦れて…あん！ ああ…~~~~~ん♡」

SE:抱き着く音

「ふう…ふう…そうそう、そのままじっとしててね」

・アナタは私なんかより若い子のほうが気になるでしょ？
などと、耳元で囁いてからかい続けているとまた勃起。

SE:ゆっくりと乳の背中を洗う泡音

・顔を少し動かしながら

「でも、やっぱり若い人間の女の子のほうが気になるんでしょう？」
「こゝんな年上の…はあ…はあ…おばさんダークエルフの…んんッ」
「だらしない…はあ…はあ…褐色おっぱいで…背中を洗われたって」
「はあ…はあ…ああ…んッ！ ふうッ…ふうッ…んふう…んッ！」
「違うの…ちよつと乳首が…んんッ…擦れて…はあ♡ はあ…♡♡」
「ごめんなさいね、耳元でこんなふしだらな声を上げて…あら？」

・この大きさならモテるでしようとの質問に、実は少し女性が苦手だと白状する。
もったいない、こんなに立派なのに…と、甘やかし褒め囁き手コキ。

SE:「口」止まる

・後ろ方向から股間を見下ろして

「あらあら…まーまー♡ またこんなにおちんちんを大きくして」

・後ろ方向から男の顔を見て

「ううん、気にしないで…大きくなったのは私のせいなんだもの」

SE:ゆっくりにした手コキの音（泡立つ感じで）

「私の手ですぐに楽にしてあげますからね…よいしょ♡ よいしょ♡」
「んッ…んッ…んんッ♡ ふう…ふう♡ ごしごし…ごしごし♡」
「さっきも思ったけど、アナタのってホントに太くて大きいのね」
「これならさぞかし女の子にもモテて…あら、そうなの？」
「あらあら…緊張して同世代の女の子とは話しができないなんて…」
「勿体ないわね…んッ…こゝんなに立派で…はあ…はあ♡ 素敵なあ♡」
「んんッ♡ 極上の…おうちん…ぽ♡ なのに♡♡」

・間

「あら、そうなの…でも、それってとっても…はあ♡ はあ♡」
「ホント…に…んッ…勿体ないわよ♡」
「はあ…はあ♡ え？ ううん、違うの…ただ、ちよつとね♪」

・人間の耳って丸くて可愛いわね…と、耳舐め手コキ。

SE:手コキ音、少し早く

「ええ…人間の耳って、丸くて可愛いなって、ずっと思ってたのよ」
「私たちエルフの耳と…感じ方も違うのかしら…クスッ♪」
「ふう〜〜〜っ…ふう〜〜〜っ…ふう————っ♡」
「あん、可愛い声あげるじゃないの…れろん♡ れろお〜〜ん♡」
「はむっ、ぢゆるるうっ…ぢゆるっ、れろおん♡ れろれろお〜〜ん♡」
「何って…ちゅっ、ちゅっ…このくらいはスキンシップでしょ〜？」
「はむっ…はむっ、むちゆるっ♡ はむはむはむう…ぢゆるるう〜ん♡」
「もー、あんまり可愛い声上げないでよ…かぷっ♡ かぷかぷかぷ♡」
「ふう…ふう…ついでに耳掃除もしてあげるわね…んあ〜」
「にゆるう〜〜〜っ…ちゅっ、にゆるろお…にゆる…にゆるお〜…」

・手コキ、激しく。

SE:激しい手コキ音

「さっきより、おちんぼ…ぐにゆるう…硬くなってるわよ…ずりゅうっ♡」
「気持ちいいんでしょ？ ちゅぶう…素直になれば射精してあげるわよ？」
「ほらあ…ふうーっ♡ 言ってえ…ふう————ツ♡ ね？ ふう〜〜〜っ♡」
「ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ ほ〜ら♡ ふるふるふるう〜〜〜っ♡」
「はい…よく言えました♡ ぢゆるるるう…にゆるおん♡」
「ええ、いいわよ…にゅぽ、にゅぽお…このお手々にたっぷり出してね♡」
「にゅぽっ♡ にゅぽっ♡ にゅぽっ♡ にゅぽにゅぽにゅぽお♡」

・射精。

さっきも射精したのに量が多くて驚きながら褒める。

SE:射精音

「むちゅっ、ぢゆるっ♡ ちゅちゅちゅう——っ…んぱあっ♡」

SE:ぼたぼたと追加の精子が垂れる音

「あ〜ん、さっきも出したのにもうこんなに出るの〜？」

・手についた精液を舐めて、もう毒素は残ってないようだと確認。
精液の匂いと味に興奮してくる。

「んあ…れろ、ぢゆるっ…れろ、れろお…ぢゆるお〜ん」
「もむ、もむ…んッ！ ごっ…くん…ぷはあ♡」

480
481 ⑫近→⑨近
482
483
484
485
486
487
488 ⑨近→⑨接
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500 ⑥近
501
502
503
504
505
506 ⑥近→⑥接
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520 ⑨近→⑥中下
521

「うん、もう毒素は残ってないみたいね…え？ 当然でしょ！」
「確認のただけだよ…私がそんなにふしだらなエルフに見える？」

・精液まみれのちんぽを再度手コキ。

SE:再び手コキの音。少し早めで液体感多めに

「当然よ！ ちゃんと愛する旦那さんだっていたのよ？」

「もう大昔に亡くなったけどちゃんと操を立て続けて200年は…あら？」

「あら、そうよね。私ったらまたしこしこしちゃってるわね」

「こうやって、人間のオスの…精液まみれのおちんぽをシコシコしたりしてえ♡」

「クスクス…やっぱり私って、ちょっとエッチな未亡人なのかしら♡」

・主人公にごめんねと謝りながら主人公を押し倒しつつキス手コキ。

「ゴメンね♡ ゴメンね♡ だってもう我慢の限界なんかもおん♡」

SE:床に押し倒した音&手コキ音は続行

「アナタが悪いのよ？ こんなに濃い種を、たっぷり出すんだからあ…」

・間

「もう！ これ以上言い訳は聞きません！ 静かにしてなさい！」

「むちゅっ、ちゅっ…もつと口を開けて…ちゅるっ…舌を伸ばして？」

「ちゅるん、れろん…ぐにゅるるう…れろおん…れろおん♡」

・亡くした夫との行為以来の男の匂いで興奮してしまったと照れながら伝える。

「だってこんなの、私い…はむ、むちゅっ…ちゅっ、ちゅっ♡」

「夫を亡くしてから、れる、ぢゅるっ…ホントに…久々過ぎてえ…ぢゅるっ♡」

「200年ぶりくらいで…私…ぢゅるるう…オスを相手に興奮してるのお♡」

「ああ、もう無理い…むちゅうっ…おまんこ…我慢できないのお♡」

・騎乗位の状態へ移行。

SE:位置を変えぬ音

「はあ…はあ…」

・主人公の制止を押し切って、謝りながら生ハメ即イキ。

SE:くちゅつとまんこを押し付ける音

「ハ、ゴメンね…アナタの初めては…おばさんがもらっちゃうわね？」

SE:クチュクチュとまんこを擦り付ける音

「いいわよね？　ちゅつ…いいのよね？　断つてもしちゃうだからあ♡」

SE:挿入音

「ああッ…先っぽ、入ってキタア…本物の、熱いおちんちいん…あッ♡」

「ああ…く…く…くひいッ♡　久々過ぎセックス…すご過ぎなの…く…く…ッ♡」

「まだよまだよ？　せっかくの200年ぶりちんぽだもの…ちゃんと根元まで！」

SE:ぐちゅん！と根元まで入った音

・上を向いて

「カハアッ!?　あッ、ああッ…くッ！　ふうッ、ふうッ…ふう——ッ♡」

「ね、根元まで挿れただけで…あはあ…軽く、イッちゃったあ♡」

・久々過ぎて抑えが利かなくなり、そのまま腰を振り続ける。

こんなのダメなのに…等、浮気してるっぽい演技でわざとらしく喘ぐ。

SE:最初から少し早めにちんぽを出し入れする音

・マイクのほうを向いて

「あッ♡　あッ♡　ああ…く…ッ…あッ♡　ああ…く…あ…く…ッ♡」

「こ、こんなのダメなのに♡　私には愛する夫がいたのに♡」

「ああ…く…ああ…く…あッ♡　そこ、キクウッ…あひい…く…ッ♡」

「まったく…な…んて悪い子なのかしら…はあ♡　はあ…く…ッ♡」

「み、未亡人の私を…あふう♡　こ、こんなに乱れさせるなんて…んお♡」

「何を言ってるの！　これは全部…ああん♡　アナタのせいでしょう？」

「アナタがこんなに…んひッ♡　立派で、凶悪なあ…おちんぽしてるせいで…」

「私のメスの部分が、セックスを…交尾を…思い出しちゃったんだからあ♡」

・再びキスしながら続行。

564 ⑥中下→⑥近

565 ↓⑥接

566 「ほらあ、キスして…ヤダッて言ってもするんだも…ん…ちゅうつ♡」

567 「ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ んふう…♡…ちゅるっ、むちゅうつ♡」

568 「そっちも…またお耳にも…あはあ♡ もっとキスするの…」

569 ・耳元でこんなことして悪い子ね…等と、自分を棚に上げたセリフを
570 囁きながら続行。

571

572 ⑥接→③接

「はむう…♡…ちゅっ、むちゅっ、ぢゅるう…♡…ちゅっ、ちゅっ♡」

573 「アナタってホントに悪い子ね…れる、ちゅっ…れるれるるる♡」

574 「お隣のおばさんをその気にさせて…浮気セックスで本気にさせるなんて♡」

575

576 SE:激しい出し入れ音

577

578 「あ、ヤダッ…またイクッ♡ 連続でまんこイッちゃってる…あひいん♡」

579 「ふう…ふう…んふう…♡うッ♡ ふッ♡ ふッ♡ おふう…♡…♡」

580 「い…や…よ…！ 何回おまんこがイッたって…止めてあげないんだからあ♡」

581 「はッ、ふうッ♡ あふッ…うッ♡ ふッ♡ ふッ♡ あひい…♡…♡」

582 「またイクわよ♡ 私のイキまんこの感触…たっぷり味わってえ♡」

583

584 ・再びイク。耳元でハアハア。

585

586 「あゝあ…ッ…イッッッ…クッ…ううッ…んふうッ!？」

587

588 SE:潮噴き音

589

590 「んッ…ぎい…♡…♡…♡ あひッ…いッ！ あひい…♡…♡…♡ッ♡」

591 「んあッ…あッ…あッ…あはあ…♡…♡…♡ はあッ！ はあッ！」

592

593 ③接→⑥近
594 「ずっとく…イッちゃっ…たあ…♡…♡…♡ はあ…♡…♡…♡」

595

596 ・まだ主人公がイッていないのでちゃんと抜いてあげないと言いながら身を起こす。
597 ママだと思えば浮気じゃないなどと謎理論でママプレイ開始。

598

「って！ アナタ、まだイッてないんじゃないの…」

599 「やっぱりこんなおばさんエルフの中古まんこじゃ満足できないわよね…」

600 「私だけ勝手に乱れてたなんて恥ずかしいわ…クスン」

601

602 ・間

603

604 「え？ そんなこと気にしてたの？」

605 「200年以上も大昔の夫のことなんか気にしなくていいわよ…」

・間

「そうなの？ もゝ…人間で随分とデリケートなのね」
「だったらゝ…そうだわ！ 私をママだと思えばいいんじゃないかしら？」

・間

「どうしてよ？ 隣の未亡人が相手だと思うから罪悪感を感じてるんでしょ？」
「ママが子供を可愛がるは当然だし、ママに甘えるのも恥ずかしいことじゃないし…」
「ほら、なんの問題も無いわ！」

・間

「いいからいいから！ ママが相手なら浮気じゃないんだしゝ」
「今度はママがたゝつぷり可愛がってあげる♡」

・甘やかしセックス。が再び腰を振る。
ハメながら潮噴きしてしまい、ぐちゅぐちゅした音が響き渡る。

SE:ぴったん、ぴったんとゆっくり目で叩きつけるような出し入れ音

「ああゝゝッ…ああゝゝッ♡ あッ、ああん♡ あん♡ ああゝゝん♡」
「どうでちゅかゝ？ ママのおまんこ…んッ…気持ちいでちゅかゝ？」
「だゝメ、その感じてる可愛い顔を、ママにちゃゝんと見せなさい♡」
「ふうッ♡ ふうッ♡ ふうッ♡ んふうゝゝ…ふうッ♡ ふうッ♡ ふうッ♡」
「いいのよ？ 今日はママが全部してあげるからあ…そのまま…くうう♡」

・顔を近づけて。

「ねえ、どうかしら？ 初めてのママセックス…愉しんでもらててるう？」
「ママはなゝんでもしてあげるからあ…ふう、ふう…遠慮なく言ってね♡」
「何も言えないくらい気持ちいいのお？ もゝ、子供のくせに上手ねえ♡」

・激しくなってイキながら続行。

SE:ぱんぱんと激しい出し入れ音

「あら、イヤだわ…私ったらまた…ウソでしょ？ また、私い…んひッ♡」

648 ⑥接↓⑥中

・のけぞり

「はぁ♡ はぁ♡ あはぁ〜…ママのおまんこ、アナタのちんぽで…」
「んひいッ!? んおッ…あッ♡ イッ…クッ♡ またイッてる…んほッ♡」
「も〜、いったいどうなってるのよ…アナタの人間おちんぽ♡」

「ママの腰が勝手に動いちゃうの♡ アナタのママなのに、こんなに淫らにい♡」
「イッてるのに…イキッばなしなのにい…腰、全然止まらないのよ♡」
「潮噴きしながら♡ くちゅくちゅおまんこ…ずぼずぼ止まらなあ位の♡」

・苦しそうな主人公をの勃起した乳首を弄りながら激しく続行。

「あら、苦しそうな顔…ホントは感じてるんでしょ? こんなに乳首を勃たせてえ」

658 ⑥中↓③接

SE:クチュクチュと乳首を弄る音

「えいッ♡ えいッ♡ うふふッ…そうでしょそうでしょ?」
「乳首をコリコリされながら、おちんぽ抜かれて気持ちいいんでしょ♡」
「あぁ〜ん、ママもとっても気持ちいいのお〜ッ♡」
「勃起乳首を抜くたびに、おちんぽがビクビク震えてまんこ感じるう♡」
「はぁッ♡ はぁッ♡ あッ…あふうん♡ んッ、あッ…くふう…ッ♡」
「ねえ、どっちの乳首が気持ちいいの? 右? それとも左?」
「右の乳首をクリクリ♡ 左の乳首はきゅっきゅきゅ〜ッ♡」
「あぁん、どっちもなんて、も〜欲張りさんね♪」

・このままママの中に出してと訴えながらフィニッシュ体制。

SE:より激しく、短くパンパンとした出し入れ音

・2行ぐらいで左右の耳元に行ったり来たりして、いたぶるように囁き。
「あぁ〜ッ…あぁ〜ッ♡ あッ♡ あッ♡ あはぁ〜ん♡」
「え? どうしたの…ふう、ふう…どうしたいのかママに教えてね♡」
「今イクの? すぐイッちゃうの? 不意打ちでどっぴゅにするのお?」
「ええ、いいのよ…我慢しないで、好きな時にびゅっびゅしてね♡」
「ふう…ふう…どこにつて、ママの中に決まってるじゃない」
「アナタが初めてのセックスで射精する、新鮮な人間ザーメンは♡」
「ママのおまんこにたっぷり出して、射精アクメさせるんだからぁ〜ッ♡」
「あぁん♡ あッ、あッ、あッ、あぁ…ッ…あひい…ッ♡」
「そこ♡ そこがいいのお♡ おまんこの奥で先ッぽがグリッてするとこ♡」

「出して出して出して♡ ママまんこにいっぱい♡ いっぱあい♡」
「あひい…ッ♡ おッ、おッ…イクッ…おッ♡ イクイクイクイクッ…」
「ちんぽ♡ 爆発寸前の、ビクビク極太ちんぽ♡ このまま、中…に…ッ」
「んおッ♡ イッッッ…グウ…」

690
691
692
693
694
695
696
697 ③接↓⑥近
698
699
700
701
702
703
704 ⑥近
705
706
707
708
709
710
711
712
713 ⑥近↓⑥接
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731

・しかし、ギリギリで抜いてぶっかけ。
もう、イジワル…と寂しそうな。
今日のことは二人の秘密だと言いながら軽いキス。

SE:ちんぽが抜ける音と射精音

・まんこのほうを向いて
「ひゃあん!? え? え? ちょっとお、どうして抜いちゃうのよおッ!?」

SE:びゅるびゅると追加の射精音

「はぶっ…ああん、こんなに大量の精液い…あん、もったいな〜い♡」

「こんなにだされてたら、ママのおまんこ…確実に孕んでたわね〜♡」

・間

「あら、ごめんなさい! 私ったらつい興奮して我を忘れちゃって…」
「きよ、今日のことは二人の秘密にしましょ! ね?」

・間

「うふふ、ありがとう…ちゅっ♡」

732	
733	
734	
735	
736	
737	
738	
739	
740	
741	
742	
743	
744	
745	
746	
747	
748	
749	
750	
751	
752	
753	
754	
755	
756	
757	
758	
759	
760	
761	
762	
763	
764	
765	
766	
767	
768	
769	
770	
771	
772	
773	
	<p>【未亡人褐色エルフママの甘々エッチな恩返し(仮)】</p> <p>◆トラック名</p> <p>03:『気を取り直してエロママ教育セックス講座』</p> <p>◆トラック説明</p> <p>場所:アパートの部屋</p> <p>キャラ:ミルム(仮)</p> <p>マイクの位置:正面</p> <p>・後日。女性に慣れる練習にとの部屋に呼ばれる主人公。 ベッドの上に寝かされる。</p> <p>SE:ドアが開く音</p> <p>「あら、いらっしゃい」</p> <p>「それじゃ早速こっちのベッドに寝転がってね」</p> <p>SE:ドタバタした足音&ベッドに倒れこむ音</p> <p>・どたどたと移動&ベッドに乱暴に寝かされる。</p> <p>・上に跨ってる状態</p> <p>「…さて、準備はいいかしら？」</p> <p>・間</p> <p>「何って決まってるでしょ？」</p> <p>「アナタが少しでも女性に慣れるように、ママが色々教えてあげる♪」</p> <p>・間</p> <p>「はいはい、いいからいいから…まずはこのメガネをかけて」</p> <p>・メガネをかけて、ノリノリで女教師のように教育を開始する。 初めは女性との会話やデートなどのやりとり。</p> <p>SE:眼鏡をかけの音</p> <p>「コホン…では授業を始めるザマスよ？」</p>

・間

「え？ 日本では教育ママはこんなメガネをかけるんでしょ？」

「あら、そうなの：確かにこんな喋り方してる人に会ったこと無いわね」

「それじゃ！ 気を取り直して早速ママのエッチな授業を始めるわよ♪」

・うろたえる主人公の横に寝る。主人公を上に移動させる。

コンドームを取り出してセックス指導開始。

「ほら、アナタが上になるのよ：そう、ママの上に跨るの」

SE:位置を変える音

「でも本番ではちゃんと準備をしなきゃダメよ？」

「イキナリベッドに押し倒したりしたら女の子に嫌われちゃうから♪」

SE:ゴソゴソした音

「それとコレ！ そうよ、コンドーム♡」

「間違いが起らないように、ちゃん準備しておくのよ？」

・間

「うん、よろしい：じゃあ今度はハグね？」

SE:着衣のまま抱きしめる音

「は～い、ママの胸の中においで～：んふうん♡」

・慌てないで行為に移るように指導。

よくできれば褒めてくれる。

「まだ緊張してるの？ クスッ：ママの言うとおりにしてみて♪」

「まず軽いキスをしながらのスキンシップ：ほら、アナタからよ」

「んッ：ちゅっ：ちゅっ：そう、恥ずかしがらないで：ちゅっ：むちゅっ」

「女の子が恥ずかしがるようなら：ちゅっ：電気を消してあげてね…」

SE:衣擦れの音

816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
850
851
852
853
854
855
856
857

「優しく服の中に手を…そう…胸を…ちゅっ…そうよ…優しくね？」
「ちゅっ…慌てないで下着を外して…んッ…直に胸を…んふうッ！」
「優しく…はあ…はあ…丁寧…ちゅっ…少しづつ盛り上げるのよ…」
「ふう…ふう…次は下よ…え？　もう、わかってるでしょ？」

・キスしながらまんこ弄り。だんだん濡れてくる。
もうガマンできないから挿れてほしいとおねだりする。

SE:下着越しにまんこを弄る音

「そうよ…下着の上から…あうッ…筋に沿うようになぞってえ」
「ちゅっ、ちゅっ…あはあ…違うの、今、クリに引っかかって…」
「痛いわけじゃないのよ？　ただちよつと敏感なところだから…ちゅっ♡」
「も、もうじつくり濡れてるから…んッ…下着も脱がして…」

・下着を脱がす。

SE:下着を脱がす音

「んんッ！　はあ…はあ…ねえ…もうガマンできないわ…」

「アナタのおちんぽを、早くママの中に…ちようだい♡」

・ちゃんとコンドームを着けるように注意される。

SE:ぐちゅっ！とちんぽを入れようとする音

「は…い、ストップ！　慌て過ぎよ…」

「そんなにガッツかないで！　まずは何をするんだったかしら？」

・間

「そう、コンドーム…」

SE:コンドームの袋を開ける音&セリフ後にコンドームを着ける音

「私は別にいらないんだけど…な、なんでもないわ。続けましょ？」

・正常位で位置を確かめながらゴムハメ。

SE:ぐちゅ、ぐちゅ、と位置青確認する音

858 ⑥近

「そ、そうよ…先っぽをあてて…んッ！ い、位置がわかる？」

859

「ええ、そうね…ひだの間を、先っぽで…なぞりながら…探し…て」

860

「あふうッ♡ そ、そこがおまんこの入口よ…大正解♡」

861

862

SE:セリフ「んんッ！」で挿入音

863

864

「あ、後はゆっくりと…焦らすように…そう…んんッ！」

865

866

SE:くちゅ…くちゅ…と浅く出し入れする音

867

868

「一気にもいいけど…少しずつ、出したり抜いたり…だんだん深くう」

869

「あ、でもママは違うから！ んッ♡ そのまま、一番奥まで挿れて♡」

870

871

SE:…ぐちゅ…と長い挿入音&セリフ「おッ♡」で、根元まで

872

873

「そう…そうよぉ♡ 根元までじっくりい…あ、届くう…おッ♡」

874

875

・動き方などを指導。

876

甘やかし教育ママのような感じで甘々褒めセックス。

877

878

SE:抱きしめる音

879

880 ⑥近→③接

「ふうッ…ふうッ♡ すっごーい…一番奥まで届いちゃったわぁ♡」

881

882

・間

883

884

「ええ、平気よ…でも、そんな優しい言葉をかけるなんて…」

885

「も…ッ！ 可愛いだからぁ！ ぎゅう…ッ！」

886

887

・抱き着いて犬をかわいがるように頭を撫でたり両頬にキス、

888

889

SE:頭をわしわしと撫でる音

890

891 ④接

「初めてなのによくできましたね…よしよし♪ ちゅっ、ちゅっ♡」

892

「そうね、このまま続けましょう…ぎゅっと抱きしめたまま…ええ」

893

894

・抱き合って耳元で喘ぎながらゆっくり出し入れ。

895

896

SE:ゆっくりに出し入れする音

897

898

899

900 ③接
901
902
903
904
905
906
907
908
909
910
911
912
913 ③接→⑥接
914
915
916
917
918
919
920
921
922 ⑥接→⑨接
923
924
925
926
927
928
929
930
931
932 ⑥接→⑥近
933
934
935
936
937
938
939
940
941

「ああ〜…うう〜ッ…んッ! あう〜ッ…くうん♡」
「はあ〜…はあ〜…まだちよつときこないわね…んッ」
「そうね…ズン!と一気に突き込んで…んあッ♡ そ、そうよ…」

SE:ゆっくり引いて、ズン!と挿入する繰り返し

「それから、ゆっくりと…そ、そう…そんな感じで…んんん〜ッ♡」
「も、もう一度…ズン♡ ふう、ふう…ずるう〜ッ…そう、上手よ」
「あッ…あッ…んッ…はあッ、はあッ…あッ、あん…はあ、はあ〜」
「そうやって、リズムカルにい…はあ…はあ…そう、もっとお♡」
「ああ〜ッ…あん♡ おッ、んふう〜ッ…くうん♡ あッ、はあん♡」
「いいわ…いいのお…あッ♡ アナタ… 想像以上に、セックス…上手よ♡」
「今度はもう少し早く…ええ…たんッ…たんッ…って、リズムで…」

・だんだん動きがが早くなっていく。

SE:たん、たん、と少しは早い出し入れ音

「あッ…あッ…んッ…はあッ、はあッ…あッ、あん…はあ、はあ〜」
「いいのお…ママのおまんこの奥を…コンコンってノックしてるう♡」
「ふうッ♡ ふうッ♡ あう〜ッ…ふッ♡ んふッ…ふう——ッ♡」
「出し入れ、もつと…んッ、おおッ♡ ひねって…腰、突き上げ…たりい」
「ああ〜ッ…あん♡ あん♡ あんッ♡ んッ…あ、あ——ッ♡」
「も〜、なんなのよお…おッ♡ おッ♡ アナタ、ホントに上手よお〜ッ♡」
「こんなの、どんな女の子だって…あふう♡ 一発で堕ちちゃうわよ♡」
「ふうッ♡ ふうッ♡ ふうッ…あふうッ♡ ああ〜…ああ〜ッ♡」
「で、で、も…腰を振るだけが…んッ…セックスじゃないのよ?」

SE:出し入れ音ストップ

「もう、鈍感ねえ…ほらあ…おっぱいも寂しがってるでしょ〜?」

・乳首責めが久々過ぎて本気で感じる。
出し入れは止まる。

SE:乳房を揉む音

「ああん♡ そんなに強く揉んだら、ママのおっぱい壊れちゃうわよ…」
「さっきも教えたでしょう？ 優しく丁寧に…乳房を回すように…くうん♡」
「そうよ、乳輪をひつかくみたいにかすめさせたりして…焦らすみたいにい♡」
「あ、くうん♡ ヤダッ、すぐエッチ…アナタ、才能あるわね…でも…」

・出し入れ再開。

「ほら、腰が止まってる！ おっぱいもおまんこも、どっちにも集中しなさい！

SE:たん、たん、と少しは早い出し入れ音

「はあッ♡ はあッ♡ ええ、上手よ…とっても気持ちいいわよ♡」
「おっぱいもおまんこも…あん♡ ああ…♡ どっちもいいのお♡」
「ひゃい…♡ あ、あらやだ、そんなッ！ 乳首ッ…んおッ♡」
「ダメよダメよダメよ！ そんなに乳首、ひねったら…はッ、ぎいッ!？」
「んひい…♡ おッ、おおッ…おお…♡」
「はッ、くうッ♡ ちッ♡ 乳首いッ…おッ♡ おまんこ♡ んおッ♡」
「このままじゃママ、本気になっちゃうわ♡ んおッ♡ ちょ、ちよっとお!？」
「ママのいう事が聞けないの!？ もうホントにダメだからッ…一旦止めッ…て♡」

・ダメだと言ってるのにやめない主人公。

激しい出し入れ。

SE:激しい出し入れ音

・のけ反り

「んぎい…♡ ツ…いッ♡ おッ、おおッ…おおおおおおッ♡」

「待つて待つて待つて♡ 待ちなさ…いッ♡ んぎい…♡」
「お、お…♡ おお…♡ おッ♡ おッ♡ おほお…おッ♡」
「このままじゃイクッ♡ ママ、今日は先生なのに…先にイッちゃうから♡」
「ママの気持ちいいとこ…どうしてこんなに、的確にわかるのよ♡」
「こんなの教えてない♡ こんなすごいセックス…こほお…♡」
「はッ♡ はッ♡ はッ♡ はあ…♡ あ…♡…♡」
「イクッ♡ ママ、もうイッちゃうんだってば♡ こんなのダメなお♡」
「こ、こんなセックスしたら、女の子に嫌われるわよ？」
「ママだから、許してあげてるんだから…あッ、イクイクイクイク♡」

・先にイッてしまう。

SE:軽々潮噴や音

984 ⑥中↓⑥中

・のけ反り
「んひッ…いッ♡ ひッツツ、ぎいいいいいいん♡」

「おおッ…おお…ッ…おッ…おお——…ッ♡」

・素直に謝る主人公を褒めて、でも主人公のは気持ちいいからと続きをせがむ。

989 ⑥中

「はあ…はあ…え？ ヤダ、別に謝らなくてもいいわよ」

「ただちよつとビックリしちゃただけで…え？」

・間

「そ、そうね！ 同じ格好だけじゃマンネリになっちゃうから！」

・間

「当然でしょ！ ママがこのくらいで限界なはずないでしょ」

「だったら他のスタンダードな体位で…うん、後背位にしましょ」

「ええ、バックってやつね。ワンワンスタイルなんて言ったりもするけど」

・体勢を変えてバックで再開。ゆっくりとパンパン。

SE:位置を変える音

・反対側を向いて

※以降、セリフに合わせて、マイクのほうを振り向いたりして下さい。

「よいしょ…つと…はい、ママのお尻を掴んで…あ、初めはゆっくりよ？」

SE:ゆっくりとした挿入音

「は、入ってきたわよ…あうッ、んッ！ ああ…ッ…くうん♡」

SE:ゆっくりした出し入れ音

「ふう…ふう…そうでしょう？ さっきと全然…んッ…違うでしょう？」

「あたるどころや、擦れるところが変わって…んおッ♡ 楽しいでしょ？」

「はあッ…はあッ…あッ…あうッ！ んふう…ッ…んッ…んふう♡」

「さ、さっきのことは覚えてる？ ええ、ゆっくり、深く…リズムカルに…」

SE:ゆっへり抜けて、ぱん！と突き込む出し入れ音

1026 「んふううん♡ んッ…ふうッ…ふうッ…くうん♡ はあッ…はあ…ッ♡」
1027 「ええ、上手よ…アナタ、パンパン…セックス♡ とっても…上手よ♡」
1028 「そ、そうね、少し強くでも…あ、ちょっとだけよ？ 少しずつなんだからね？」
1029 「そ、そうしないと…またママだけイッちゃうかもしれないから…♡」

1030
1031
1032 ・少し早めにパンパン。

1033 SE:早めのパンパン音

1034
1035 「あッ♡ あッ♡ あッ♡ ああ…ッ♡ あッ♡ あッ♡ あッ♡ ああん♡」
1036 「おっぱい、揺れて…はあッ♡ はあッ♡ ぺちん、ぺちん…音があ♡」
1037 「そうなの？ そんなにママのおまんこがいいの？ ホントに気持ちいいの？」
1038 「も、そんなわかり切ったこと聞かないで…はッ、ぐうッ！ あはあ…♡」
1039 「ママだって、おちんぽお…気持ちいいに…くひッ♡ 決まってるわよ♡」
1040 「あ、そこッ…あうッ♡ おッ♡ あん♡ ああ…ッ…あッ、はあん♡」
1041 「すっごい♡ 気持ち良過ぎてエッチなお汁が…どくどく溢れてくる♡」
1042 「まんこ…おッ♡ びっちゃびちゃで…あッ、こんなのお…あはあ…ん♡」
1043 「え？ また、おっぱい？ え、ええ、当然よ…アナタの好きに…してえ♡」

1044
1045 ・抱き着いて乳を弄りながら密着交尾。

1046
1047 SE:激しいぐちゅぐちゅした出し入れ音

1048
1049 ・反対側を向いて

1050 「あはあ…ん♡ そんなッ、深ッ、激シッ…ああ…ッ♡」
1051 「子宮が押し込まれて、お腹が苦しいのに…すぐいいのお…ッ♡」
1052 「ヤダ、こんなのまるで交尾みたいで…ママも…獣になっちゃう♡」
1053 「はッ♡ はッ♡ はッ♡ くふう…ッ…くうん♡ はッ♡ はッ♡ はあッ♡」
1054 「そ、そんなにママと異種間交尾するのがいいの？ そうなのね？」
1055 「いいッ…私もいいのお♡ ママのおまんこもおちんぽ大好き♡」
1056 「もっと犯して欲しいのよ…アナタだけのママまんこ、乱暴にしたいんだから♡」
1057 「ああん、もっと近づいて…そう…ママにもご褒美頂戴ね…ほらあ♡」

1058
1059 ・振り向いてキスをしながらフィニッシュ体制。

1060
1061 ・マイクのほうを向いて

1062 「れろ…もっと舌伸ばしてえ…れろ、れろお…ちゅるっ♡ れろお♡」

1063
1064 SE:パンパン…と激しく早く出し入れする音

1065
1066
1067

1068	「もっとよ、ほら、口い…はむっ♡　ぢゆるっ、むちゅちゅうっ…むちゅっ♡」
1069	「らめッ…キス、ぢゆるう…ひたままで、ぢゅぷう…もっろ突いてえ♡」
1070	「ふう…ッ♡　ふう…ッ♡　んふう…ッ…ふッ♡　ふう…ッ♡」
1071	「ね、犬みたいにキスしよお…んあ…れろれろれろれろれろおん♡」
1072	「犬みたいに…れろれろお…パンパンしながら…もっと、れろれろお♡」
1073	「いいわよ…れろれろぢゆるう♡　思いつきり出して♡　ちゅっ、ちゅっ♡」
1074	「ママのおまんこに思いつきり交尾射精して♡　イッて♡　イッて♡　イッてえ♡」
1075	
1076	・キスしながらゴム射精イキ。
1077	
1078	
1079	SE:射精音
1080	「ひッッッ…ぐうッ…んぶふう————…ッ♡」
1081	「ちゅっ、ぢゅう…ッ…ひぐッ♡　ぢゆるっ、むちゅちゅう…ッ♡」
1082	「んぶッ…ふう…ッ　ふう…ッ…ふう————…ッ…」
1083	
1084	・ちんぽを抜いて、倒れこんだがハアハア。
1085	少しは女性に慣れたか聞くと、どうせなら抱き合っつのほうが好きかもと主人公。
1086	
1087	SE:ちんぽが抜ける音&倒れこむ音
1088	
1089	⑤接→⑥中下
1090	
1091	
1092	⑥中下
1093	
1094	
1095	・マイクのほうを向いて
1096	
1097	
1098	
1099	⑥中下→⑥近
1100	
1101	
1102	「まだ足りないの!?　アナタってオークみたいに絶倫なのね」
1103	「ぎゅーってしたママが好きなのね?　ええ、勿論♪」
1104	
1105	SE:新しいゴムを準備する音
1106	
1107	「ちよっと待ってね。ママが新しいの着けてあげるから」
1108	
1109	SE:ゴムを外す音&タップした音&ゴムを着け変える音

1110
1111
1112
1113
1114
1115
1116
1117
1118
1119
⑥近↓⑥中下
1120
↓⑥接上
1121
1122
1123
1124
1125
1126
1127
1128
1129
1130
1131
1132
1133
1134
1135
⑥接上
1136
1137
1138
1139
1140
1141
1142
1143
1144
1145
1146
1147
1148
1149
1150
1151

「あはゝ、すごい量の精子だわゝ♪ はい、新しいの…よいしょ♪」

・ 今度は自分がしてあげると、対面騎乗で挿入。

「ええ、さっきはアナタに頑張ってもらったから、今度はママがしてあげる♪」

SE:位置を変更する衣擦れ音

「こうやってアナタに跨って…ええ、対面騎乗位って言うのよ？」

「こうして顔も見えるし、ぎゅーってできていいでしょ？」

SE:挿入音

「んんッ！ あゝゝゝッ…イキたてのおちんぽって最高よおゝ♡」

・ そのまま出し入れ。主人公がおっぱいが欲しそうなので舐めさせる。
赤ちゃんみたいにしゃぶりとく主人公をなでなでしてからかう。

SE:ぐちょん、ぐちょん、と汁気のある体重の乗った出し入れ音

「はあ、はあ…んッ♡ あッ、ああッ…ふう、ふう…あッ、ああん♡」

「あら、またおっぱいがほしいの？ 違うの？ ああ、そういうことね…」

「いいわよ…ママのおっぱい、好きにしゃぶって、ちゅーちゅーして♡」

「ああん♡ ヤダ、くすぐったあい♡ そんなに必死にむしゃぶりでえ♡」

「もゝ、赤ちゃんみたいで可愛いよゝ…ああッ…あはあゝゝん♡」

「あ、強いッ…んッ♡ 乳首ッ、そんなにい…あひゝゝッ…くうん♡」

「そんなに吸ったって…あッ、くふうッ…ミ、ミルクは出ないわよ？」

「はいはい、好きなだけ吸いなさい…よしよし♡ よしよゝし♡」

・ 思わず腰を突き上げる主人公を制して

今日は私が教えてあげるのよ？と、キス。

SE:ぐちょん！と突上げた音。その後一旦ストップ

「あん♡ ダーメ！ アナタはさっきたくさん動いたでしょ？」

「今度はママがしてあげるって言ったの忘れたの？」

SE:ぐっぐりした出し入れ音

1152 ⑥接
1153
1154
1155
1156
1157 ⑥接→⑨接
1158
1159
1160
1161
1162
1163
1164
1165
1166
1167
1168
1169
1170
1171 ⑨接→⑥近
1172
1173
1174
1175 ⑥近
1176
1177 ⑥近→⑥近上
1178
1179
1180
1181
1182
1183
1184
1185
1186
1187
1188 ⑥近上
1189
1190
1191
1192
1193

「あむう…ちゅっ…ウフツ…キスも上手になったわね♡」
「ちゅっ、ちゅるっ…んふう…ちゅっ、ちゅるう…むっ、ちゅうつ♡」

・キスしながらの腰振りから耳舐めに移行。

「んはぁッ…はぁッ…はぁ…ッ…今度はこっち」
「はむっ、むちゅっ♡ ちゅぶぶうつ…ぢゅるっ…むちゅちゅうつ♡」
「ママにお耳をペロペロされるの好きなんでしょ？ バレバレよ」
「はむっ…はむっ…はむっ…ちゅぴっ♡ ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ♡」
「耳たぶっていろいろの？ エルフの耳は横に長いから珍しいわね」
「はむう…ちゅっ、ちゅるん♡ むっちゅ♡ むっちゅ♡ ちゅちゅっ♡」
「はむ、ちゅっ…れろれるお…もうイキそうなの？」
「だったらもっと激しくう…ああ…ッ…ああ…ッ♡」
「はむうつ！ ぢゅるっ♡ ぢゅるっ♡ ぢゅるっ♡ んぷうつ!？」

・ちんぽが抜けてゴムが外れるが、アナルに入れ直す。

SE:ちんぽが抜けた音

・股間のほうを向いて

「ああん!? あらヤダ…せっかくのイキかけちんぽが抜けちゃったわ」
「盛り上がってきたのにゴムも外れちゃって…ぁッ!」

「せっかくだし…このまま生で挿れちゃいましょうか？」

「平気よ、だっておちんぽを入れるのは…ママのお尻の穴だから♡」

SE:ぐちゅ…と少しずつ挿入する音

「ああああああぁッ…おッ♡ キッ…ツウ…ツウ…ッ♡」
「メリメリって、お尻の穴を…おお…ッ…かき分け、られてるのお♡」

・激しく見悶えながら出し入れ。

SE:ぐちゅ…ぐちゅ…と、力強く出し入れする音

・のけぞり
「おッ♡ おッ♡ おほお…ッ…んおッ♡ おッ、おお…ッ♡」
「ちんぽが太過ぎて…んほッ♡ ママの尻穴あ…捲れちゃってるわよお♡」

1194 ⑥近上

「ダメッ、こんなのお…もっと…もっと欲しいのよお…ッ♡」
「エッチなママでゴメンね♡ ほら、おっぱいも弄って♡ 乳首摘まんて♡」
「ひぎい…ッ♡ あひッ、カハアッ…あッ、おお…ッ♡」
「ヤダ、これえ…なにもしてないのに…おまんこもヒクヒクしちゃう♡」
「やあん！ いいのよ、アナタはおっぱいに集中してね？」
「おまんこはママが自分で弄るからあ…はあ♡ はあ♡」

・まんこ弄りしながらアナルで続行。

SE:激しく出し入れする音&まんこを弄る水音

「ああ…、これこれえ♡ どっちの穴も犯されてる感じすッごおい♡」
「はッ♡ はッ♡ はッ♡ はッ…あはあ…ッ…コレ、最ッ高♡」
「おふう…ッ…んおッ、ほッ♡ おお…ッ…おお…ッ♡」
「今？ あのね…ママ、クリを弄って…感じてたのお♡」
「そうよ、とっても気持ちいんだからあ…でも、指を挿れたら、もっと…」
「おッ…おッ…おお…ッ♡ どっちの穴も犯されてるみたあい♡」
「ねえ、もうイキたい？ ママの中に生ちんぽでどぴゅどぴゅしたい？」
「お、お尻まんこだからあ♡ 思いつきり中出ししても平気だからあ♡」
「はッ♡ はッ♡ あはあ…ッ…ふう…ふう…ッ♡ …え？」

・どうせならいっしょにイキたいなどと言われて照れる。

キスしながら激しく続行から、耳舐め囁きでフィニッシュ体制。

「そ、そんなあ！ ママと一緒にイキたいだなんて…も…ッ！
「そんなこと言われたら、可愛くて可愛くて…ママ困っちゃう♡」

1221 ⑥接

「はむうん♡ むっちゅ♡ むっちゅ♡ ちゅるっ、はむはむっ…ちゅん♡」

1223 ⑥接→⑨接

「だったら大好きな耳穿りしながらイカせてあげるう…ちゅろっ♡」
「ぐりゅっ♡ ちゅりゅっ♡ ぐりゅりゅっ♡ にゅぽぽお…ッ♡」
「イッ♡ ぐぽぽおっ♡ イッ♡ イッ♡ イッへえ…ッ♡」
「ママもイグかりやあ…ちゅるるう…ほら、いっひよに、いっひよに♡」
「ちゅるぽっ♡ ぬぽっ♡ ぐぽっ♡ ぬぽぬぽぬぽぬぽお…♡」
「んぽお…っ…ひグひグひグひグひグひググウッ…んぱあッ!？」

・同時イキ。

「未亡人エルフママ尻まんこ…イッちゃうのお…ッ♡」

SE:中冪音

1236	
1237	
1238	
1239	
1240	
1241	
1242	
1243	
1244	⑨接↓⑥近
1245	
1246	
1247	
1248	
1249	
1250	
1251	
1252	
1253	⑥近
1254	
1255	
1256	
1257	
1258	⑥近
1259	
1260	
1261	
1262	
1263	
1264	
1265	
1266	
1267	
1268	
1269	
1270	
1271	
1272	
1273	
1274	
1275	
1276	
1277	

「はむうつ♡ んぶう——っ…ふう——ッ…ふう——♡」
「ばあっ！ 中出し…精子い…あつつう…い…♡」

・でも生で直接精子が欲しかったなーとムラムラ。
何か言いましたかと聞かれて誤魔化す。

SE:ちんぽが入ったまま位置を変えるぐちゅ…っとした音

「はあ…はあ…あらあら、お礼なんていいのよ」
「これで少しでも恩返しできたなら私も嬉しいわ」

SE:ぶぴゅっ！と中出し精液が逆流する音

「それに、私もたっぷり愉しませてもらったし…クスッ♪」

・小声で、斜め下を向いて。

「あーあ、でもアナタの子種なら生でほしかったのに…」

・間

「え？ 何でもないわよ！ はい、今日はお疲れ様♪」

1278	【未亡人褐色エルフママの甘々エッチな恩返し(仮)】
1279	
1280	◆トラック名
1281	04:『裸エプロンで新妻気取り褐色エルフの秘薬逆レイプ』
1282	
1283	◆トラック説明
1284	場所:アパートの台所
1285	キャラ:ミルム(仮)
1286	
1287	マイクの位置:胸の位置
1288	
1289	・通い妻気取りで料理しに来てる。
1290	裸エプロンで誘惑しながら精力剤入りスープを飲ませる。
1291	
1292	SE:スプーンを差し出す音
1293	
1294	⑥近
1295	「お待たせ。ダークエルフの特製スープを召し上がれ」
1296	「はい、あ〜ん♪」
1297	・間
1298	
1299	SE:食器を置く音&エプロンをめくる音
1300	
1301	「おいしい? よかった〜:え? だってこれが人間界の流行なんでしょ?」
1302	
1303	SE:立ち上がる音&エプロンが翻る音
1304	
1305	⑥中上
1306	・立ち上がる
1307	「でも裸にエプロンなんておかしな格好よね。人間って不思議だわ」
1308	⑥中上→⑥近
1309	・顔の間近に近付く
1310	「それとも、アナタは裸エプロンが嫌いなのかしら?」
1311	・間
1312	
1313	「よかった〜…うふっ♪」
1314	
1315	・ガタツと倒れこむような音。
1316	たどたどしい足音でベッドに倒れこむ主人公。
1317	
1318	SE:ガタンと倒れいぶ音
1319	

1320	⑥近→③中	「あらー！」
1321		
1322		SE:ズルズル這いずる音
1323		
1324	⑫中上→⑫遠	「あらあらどうしたの？ 急にベッドに行っちゃってー」
1325		
1326		・ 体に入らなくなり、よろよろとベッドに倒れこむ主人公。
1327		ちんぽを出しながら食べさせたスープは性力増強のエルフの秘薬であると説明。
1328		
1329		SE:トサツとベッドに倒れこむ音&、がにじり寄ってくる足音
1330		
1331	⑥遠上→⑥近上	「もしかしてこれって、私を誘ってるのかしら？ うふふ♪」
1332		
1333		SE:ベッドの上に乗る音&服を脱がす音
1334		
1335	⑥近	「あらあら、汗がこんなにー…はい、脱ぎ脱ぎしましょうねー」
1336		
1337		・ 間
1338		
1339	⑥近→⑥接	「さっきのスープ？ エルフの里に伝わる性力増強の秘薬よー」
1340		「エルフは繁殖期以外は性欲が低い子が多いから、そのためのスープなのー」
1341		・ 間
1342		
1343		
1344	⑥近→③接	「だってアナタったら、あれ以来目を合わせてもすぐ逃げちゃうんだもん！」
1345		「私にこんなことまでさせるなんて…ホントに憎い人ね♡」
1346		・ エプロンをめくって片乳を出す。
1347		
1348		
1349		SE:位置を直してエプロンをめくる音
1350		
1351	③近→⑥中	「我慢しないでー。せっかく裸エプロンなんだもの…ほらあ♡」
1352		
1353		・ 我慢できなくなつて抱き着く主人公。
1354		「今日はママが思いっきり可愛がってあげる」と、パイズリ開始。
1355		
1356		SE:ガバツと抱き着く音&乳を揉みくしゃにする音
1357		
1358	⑨中→⑥接上	「ああん！ またおっぱいの？ ホントに赤ちゃんみたいなんだからあ♡」
1359		
1360	⑥接上→⑥接下	・ 股間く
1361		「はいはい、今日もママのおっぱいで思いっきり可愛がってあげるわね♡」

SE:ズボンを脱がす音

⑥接下

・座った状態で正面を見て

「まずはこうして、ママおっぱいでおちんぽを挟んで…えい♡」

SE:くちゅくちゅとちんぽを乳で挟む音&汁が噴き出す音

「あっは〜ん♡ 挟んだだけでお汁がこ〜んなに噴き出してるわよ？」

SE:ぐちゅぐちゅと汁をまぶす音

「こうやって我慢汁をたっぷりまぶして…よいしょ ♪ よいしょ♪」

SE:くちゅ…くちゅ…とゆっくり目のパイズリ音

「はあ…はあ…はあ…んんッ♡ は〜…はあ〜…んッ♡ んッ♡ んんッ♡」

・上を見て

「手でシコシコされると、おっぱいでしこしこされるの…どっちが好き？」

「も〜、どっちもなんてズルいわよ〜…ほら、ちゃんと答えなさい！」

・間

「そう…そんなにおっぱいが好きなら…せ〜の！」

SE:少し早めのパイズリ音&水音

⑥接下

・座った状態で正面を見て

「んッ…ふッ…ふうッ…ふうッ…んッ…ふうッ…ふうッ…あふう〜…ッ♡」

「ふんッ…ふうッ…ふうッ…ああん♡ すっごおい…擦る度にお汁が…あふう♡」

「射精してるみたいに、ぴゅっぴゅって噴き出して…ママの顔がどろどろよお♡」

「おっぱいがおまんこみたいで気持ちいい？ も〜、エッチなんだから♡」

「でもまだ射精しちゃうダメよ？ もうちよつとだけがんばってね〜」

「だって…おっぱいおまんこの本番はこれからなんだから♪」

「はむうつ…むちゅん！ ぢゅろっ、れろっ…ぢゅろっ…ぢゅろろお〜…♡」

・パイズリフェラで口内射精。

SE:激し〜短〜パイズリ音

1404「いいわよ…ぢゅぽぽっ♡ ママのおまんこに…ぐぽっ…びゅーっして♡」
1405「おっぱいおまんこでちんぽ扱かれながら、口まんこを犯しながらあ…ぐぷっ♡」
1406「ぢゅぽっ♡ ぢゅぽっ♡ ぢゅぽっ♡ ぢゅぽっ♡ ぢゅぽっ♡ ぢゅぽぽおっ♡」
1407「ママにたぐくさん…ふうッ！ ふうッ！ おちんぽミルクを飲ませてね♡」
1408「れるれるれるれるれるる♡ むちゅむちゅむちゅむちゅむちゅうっ♡」
1409「ぐっぽおっ♡ ぐぽっ♡ ぐぽっ♡ ぐぽぐぽぐぽぐぽぐぽぐぽぐぽお♡」
1410
1411
1412
1413
1414
1415
1416
1417
1418
1419
1420
1421
1422
1423
1424
1425
1426
1427
1428
1429
1430
1431
1432
1433
1434
1435
1436
1437
1438
1439
1440
1441
1442
1443
1444
1445

・射精

SE:口内射精する音

「はぶうっ!? おぶっ、うっ！ んぶっ、ぶうっ…おぶう〜っ♡

・興奮してる。

口から精液を自分の手に吐き出して、精液まみれの手でまんこを弄る。

「ぶはあっ！ はあ…はあ…こんなにあっぷりい♡（口に入れたまま）」

SE:精液を手に垂らす音

「むちゅっ！ んぷう…んあ…ああ〜っ」

SE:精液のついた手でまんこをぐちよぐちよいじる音

「はあ…はあ…ミルクまみれのおちんぽしこしも好きでしょ〜？」

「赤ちゃん人間ちんぽなのに…ママをこゝんなに悦ばせるちゃうんだもん」

「末恐ろしいおちんぽよね。薬のせいで今日は底なしだし♡」

・抵抗する主人公にが騎乗位で上に覆いかぶさって生ちんぽ挿入。

SE:ガバツと押し倒した音

「ふ〜ん…このままじゃ狂っちゃいそうなの？ クスクス♪」

SE:精液まみれのまんこを亀頭にぐちゅぐちゅ押し付ける音

「それじゃ、今日は一緒に狂っちゃいましょうね♡」

「ダメ、許しません！ ママのおまんこが満足するまで…ね♡」

SE:ぐちゅっ、ぐちゅっ、と段階を踏んで挿入していく音

1488 「んおッ!? あひいゝゝッ♡ イッ…クウゝゝッ…おおッ♡」
1489 「おおッ…おおゝゝ…あはあ…乳首も…イッちゃったあ♡」
1490

・ハアハアしながら耳舐め囁きで続行。
ちんぽの気持ち良さを伝えながら、甘々なようでちよつとヤンデレ的に。

SE: 倒れこむ音

1491
1492
1493
1494
1495
1496 ⑥近上→③接
1497 「はあ…はあ…うふふ…ダーメ。まだまだ夜は長いのよ…?」
1498 「んッ…んッ…ふうッ、ふうッ…ふうゝゝ…ふうゝゝ…」

SE: ぐちゅんぐちゅんと早めの出し入れ音

1500
1501 「おばさんエルフママまんこをこんなにイジメて…どうするつもりい？」
1502 「ぢゆるう…未亡人おっぱいをイクまでしゃぶり尽くして責任取れるのお？」
1503 「ちゅっ、ぢゆるっ…どうなの？ ほらあ…ふうっ！ ふうゝゝっ！」
1504 「答えなさいよお…ふうゝゝ…ふっ、ふっ…ふう————っ！」
1505 「もうママのまんこは…ちゅぱあ…このちんぽじゃなきゃ…イケなッ…いッ♡」
1506 「はむうっ！ んぶうっ♡ むちゅちゅっ…ぢゅっ、ちゅうう————っ♡」

・またイキそうになって、主人公もイキそう宣言。

SE: 激しい出し入れ音

1510
1511
1512 「あ、またイクッ♡ 子宮がイキたがって…子宮口がちんぽに吸い付いてるう♡」
1513 「あはあゝゝッ…生ちんぽもイキたがってるう♡ ビッキビキのビクビクウ♡」
1514 「あゝあゝゝゝッ♡ ああッ、おっ♡ あひいゝゝゝゝッ♡」
1515 「アナタもイクのね？ はあ♡ はあ♡ ママのまんこにどっぴゅんしたいのね？」
1516 「…そう。このままちんぽアクメして、ママの子宮に注ぎ込みたいのねえ？」
1517 「あッ、うッ♡ ふうッ♡ ふうッ…でも…ダーッメ♪」

・しかし、魔法で射精を止められてビクビクと痙攣。
強制的に射精を止められて跳ね回るちんぽで思いつきアクメする。

SE: 身を起こす音

1522
1523
1524 ③接→⑥中
1525 「ふう…ふう…ごめんねえ…魔法で強制的に射精を止めちゃったの〜」

SE: セリフ途中からべちんべちんと尻を叩きつける激しい出し入れ音

1526
1527
1528
1529

1530 「だって…ママ、もうちょっとだけこのおちんぽと仲良ししたかったんだもん」
1531 「それに…あひッ!? キタア…コレッ♡ おッ、おほお…♡」
1532 「おちんぽが、おまんこの中で♡ 大蛇みたいに暴れ回ってるのよお…♡」
1533 「コレ好き♡ このちんぽ好き♡ アクメ我慢限界ビクビクおちんぽいいのお♡」
1534 「イクイクイクイクイクイクウ…♡ ああ…♡ ツ…ああ…♡」
1535 「ひッ、ぐう…♡ ツ…♡ ツ…♡ おッ!? ほお…♡」

1536 SE:出し入れ音が次第にゆっくりになって止まる

1537 「あ、ああ…はあ…はあ…ああ…♡…♡…♡…♡…♡…♡…♡…♡…♡…♡…♡…♡」

1538
1539 ・ママと一緒にイキタイのか質問されて、イキたいと言われる主人公。
1540 だったらその証拠にママにチューするように命令されてキス。

1541 「ねえ…アナタもイキ狂いのスケベママと一緒に…限界アクメしてみたい？」

1542
1543
1544
1545
1546
1547
1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571

1572	
1573	
1574	
1575	
1576	
1577	
1578	
1579	⑥中下→⑥接上
1580	
1581	
1582	
1583	
1584	
1585	
1586	⑥接上→③接
1587	
1588	
1589	
1590	
1591	
1592	
1593	
1594	
1595	
1596	
1597	
1598	
1599	
1600	③接→⑥中
1601	
1602	
1603	
1604	
1605	
1606	
1607	
1608	
1609	
1610	
1611	
1612	⑨中
1613	

「おひいゝゝゝッ♡んぎッ、いッ♡ひいッ♡んひいゝゝッ♡」
「いいの♡いいのお♡ケダモノみたいな…本能全開の乱暴ピストオン♡」
「もっと、もっとお♡まんこ壊れるくらい、激しくちんぽぶち込んで♡」
「おッ♡おッ♡おッ♡おおゝゝッ…カハッ！おッ、んお——…ッ♡」
「ほらほらあハートこの前ママが教えたことをもう忘れちゃったの？」
「そう、それよ♡おっぱい揉んだり♡おっぱい吸ったり、嘗め回したり♡」
「ああゝゝゝあん♡もっと乱暴に乳首イジメて♡また乳首でもイカせてえ♡」
「んひいッ♡ミルクが出そうな…乳首ディープスロートオ…おおゝゝッ♡」

SE:より激しい早く短い出し入れ音

「はッ、くうッ…んおッ♡おッ、おおゝゝッ…あッ♡あひいゝゝ…ッ♡」

「最後は抱っこ♡ぎゅーっしながら密着セックスウ…むちゅうつ♡」

「むちゅっ、ぢゅるっ…れろれろろお…ふうッ、ふうッ…ぢゅるっ♡」

「んッ♡んッ♡んッ♡んふう——っ…んぶっ!?んおッ…んぽおっ♡」

「イグッ…イグウッ♡まんこイグまんこイグまんこイグまんこイグウッ♡」

・アヘイキ。長い大量の生中出し。

SE:中出し音

「あゝあ——…ッ♡ひい——…ゝゝゝゝ…いん♡」

「ザーメン、多過ぎッ…んほッ♡子宮が溺れちゃうゝゝッ♡」

SE:中出し精液の逆流音&少し離れる音

「んおッ…おお——ッ♡あッ…あッ…ああゝゝ…あへえ♡」

・ぐったりしてるふたり。

ハッと正気を取り戻したが主人公に謝る。

「はあッ！はあッ！はあッ！はあッ！はあ…はあゝゝ…」

「あー、気持ち良かった…ふう…ふう…ふう——…」

「はッ!?わ、私ったらつい本気で最後まで！」

「ゴメンねゴメンね！だったアナタがあんまり可愛くて…」

SE:ドサッと倒れる音

「きゃゝッ！ホントに気を失ってる…ど、どうしよ?!」

1614	
1615	
1616	
1617	
1618	
1619	⑨中→①遠
1620	
1621	
1622	
1623	
1624	
1625	
1626	
1627	
1628	
1629	
1630	
1631	
1632	
1633	
1634	
1635	
1636	
1637	
1638	
1639	
1640	
1641	
1642	
1643	
1644	
1645	
1646	
1647	
1648	
1649	
1650	
1651	
1652	
1653	
1654	
1655	

・最後の声を聴きながらフェードアウト（気を失う）

SE:ぶたばたしながら離れていく音

「救急車？ 救急車〜〜ッ!!」

1656	【未亡人褐色エルフママの甘々エッチな恩返し(仮)】
1657	
1658	◆トラック名
1659	05:『サカリ未亡人にNTRラブラブ種付け』
1660	
1661	◆トラック説明
1662	場所:アパートのの部屋
1663	キャラ:ミルム(仮)
1664	
1665	マイクの位置:正面
1666	
1667	・体調を崩したというの看病に来てる主人公。
1668	この前はホントにごめんね、と可愛く弱ってくる。
1669	気にしてないと返す主人公。
1670	
1671	④中下
1672	
1673	
1674	
1675	④中下→⑥中下
1676	
1677	
1678	
1679	・間
1680	
1681	「そう:~そう言ってもらえると助かるわ:~」
1682	
1683	・自分にできることなら何でもするので言ってほしいという主人公。
1684	だったら:~と、主人公の手を取って乳を触らせる。
1685	
1686	「え? そんなの悪いわよ:~」
1687	「アナタにはいつも:~くッ! 迷惑をかけてるのに:~」
1688	
1689	・恥ずかしそうに、実は病気じゃないと返す。
1690	布団をどかすと全裸でオナニーしている。濡れすぎて布団がぐちょぐちょ。
1691	この体調不良は実はエルフの発情期。
1692	
1693	「ありがとう:~でも、実はね:~私のこれは、病気じゃないのよ」
1694	
1695	・間
1696	
1697	「ええ:~ちょっと布団をめくってみてもらえるかしら?」

1698		
1699		SE:布団をめくる音&まんこを弄る音
1700	⑥中下↓⑤近	
1701		「はあ…はあ…ああゝ、見られてる…ママのオナニー、見られちゃってるあ♡」
1702		「見てえ…オナニーし過ぎて、もうシーツも布団も、ぐちよぐちよなのゝ」
1703		・間
1704		
1705		「これはね…エルフの発情期なの」
1706		「ま、前の夫には悪いけど…私は…私の身体は…はあ♡ はあ♡」
1707		「アナタの赤ちゃんを…んはあ♡ は、孕みたがってるのよお♡」
1708		
1709		・間
1710		
1711		「ゴメンね…やっぱりこんな、未亡人のおばさんエルフじゃ嫌よね…」
1712		
1713		・その答えをキスで返す主人公。
1714		そのまま自分ものが好きだと告白して、驚くに再びキス。
1715		
1716		SE:衣擦れ&ギシツとベッドが軋む音
1717		
1718	⑤近↓⑥接	「え？ はむっ！ んむっ、ちゅっ…んんんゝゝゝっ♡」
1719		
1720	⑥接↓⑥近	「ぷあっ！ どうして…え？ ええゝゝゝッ!」
1721		「ウソウソ…私、300歳以上も年上のおばさんエルフで…未亡人で！」
1722		「しかもダークエルフだから、肌もこんなだし…」
1723		「優しい隣人のアナタを淫らに食い散らかした…淫乱おばさん…だしい…」
1724		
1725		・間
1726		
1727	⑥近↓⑥接	「そ、そんなの…はむうっ！ ちよっ、どうして…あむ、んんっ！」
1728		
1729		・混乱しているとキスしながらまんこを弄る主人公。
1730		
1731		SE:濡れたまんこを激しく弄る音
1732		
1733		「だって私なんか…むちゅっ、ぢゅるっ！ あ、そこダメッ…ちゅっ！」
1734		「発情期で、いつも以上に敏感だから…むちゅ、ぢゅるうっ…むふうッ!」
1735		「んむうゝゝゝゝゝッ♡ ううゝゝゝゝッ…はぶうゝゝゝゝゝうん♡」
1736		「らめッ、まんこお…むちゅっ、ぢゅるっ…すぐ、イッちゃうから…ちゅっ♡」
1737		「ホントに、らめっ…ぢゅるっ♡ ひぐっ♡ ひぐうっ…んばおっ♡」
1738		
1739		・嬉し過ぎて、嬉しよんのように潮噴きしながらビクビクとイク。

1740	
1741	
1742	
1743	⑤近
1744	
1745	
1746	
1747	
1748	
1749	
1750	⑤近
1751	
1752	
1753	
1754	
1755	
1756	⑤近↓⑥近上
1757	
1758	
1759	
1760	⑥接上
1761	
1762	
1763	
1764	
1765	
1766	
1767	
1768	
1769	
1770	
1771	
1772	
1773	
1774	
1775	
1776	
1777	⑥近上
1778	
1779	
1780	
1781	

SE:激しう潮噴き

・のけぞり

「んばあっ！ んツツツ…ひいひいひいひいひいん♡」

「おッ…おおッ…おッ♡ おお…」

・主人公が自分を気遣ってるだけだと、困らせてゴメンと謝っていると証拠を見せると言って主人公がクンニ。

「ゴメンね気を遣わせちゃって…え？ 違う？ 証拠をとて…」

SE:いそいそと移動する音

・マイク位置調整…腰の位置

「キャッ！ ダメダメッ！ 今、いっぱい汗かいてるから…汚ッ！」

SE:クンニ音

「あひいん♡ んあ…♡ ああ…ツ♡」

「ああ…ツ…舌がにゆるにゆるう…イキまんこ、穿ってる♡」

「おばさんまんこなのにい…未亡人まんこなのにい…んひい…ツ♡」

・ペロンとひと舐めされてまた即イキ。

SE:ぐちゅぐちゅと激しいクンニ音

「らめっ♡ らめえ♡ ひと嘗めごとに…おほッ♡ アクメがクルのお♡」

「おばさんまんこ…人間クンニで…イキまくっちゃってるのお…ツ♡」

「イクッ、イクッ…はぐうッ！ んッ、ぎいひいひいひい♡」

・おっぱい弄りされながらのクンニで我慢できなくなり、主人公の頭を抱えて止める。ちゃんとちんぽでイキたいとおねだり。

SE:がしつと頭を掴む音

「も、もう！ いい加減にしろさい！ ふうッ！ ふう…ッ！」

SE:ズルズルと移動する音

・マイク位置調整…正面

・ママにして♡とおねだりしながらフィニッシュ体制。

SE:短く早く激しい出し入れ音

「お、お願いよお…私をホントの…んおッ…ママにしてえ♡」

「バカア！ 本気じゃなきゃこんなこと…おお…お願い、できないでしょお!？」

「今日なら絶対に孕むからあ♡ アナタの赤ちゃん、産んであげられるからあ♡」

「発情期まんこの種付けてよお♡ ダークエルフまんこを妊娠させてよお♡」

「はッ、ガッ!? こほお——ッ…深ッ、かあ………あい♡」

「おッ♡ おッ♡ おおッ♡ んお——ッ…こほお…お おおおおッ♡」

「イグッ♡ イグッ♡ 子宮口開きっぱの欲しがりまんこで孕みイグウッ♡」

「お お———ッ…おッ!? んお お———………ッ♡」

・生中出し。もったいないから抜いたらダメと。

SE:中出し音

・抱き着きなので顔の向きは後頭部側

「はぎいッ!? こッ…おおッ…はッ♡ かはあッ♡ あッ、はあ………」

「イッ…ちやッ……たあ♡」

SE:ちんぽを抜きかけて精液が逆流する音

「ふうッ！ ふう……ッ…あ、やあん!？」

「まだ抜いちやダメエ……ッ！ もったいないからこのままするのお!」

SE:いろいろと転がる音

「ほらあ、このままぐるっとアナタが上になって…そうそう」

「直上からゴンゴン突き込んで、もっと追加の孕み汁注ぎ込んでよお♡」

・中出ししたちんぽを抜かず、まんぐり返しでごぼごぼと精液が逆流しながら続行。

SE:ぐっぽん…ぐっぽん…と精液を溢れ出させながら深く出し入れする音

「ほごお………おッ♡ だいじよだから…そのまま子宮口に、ぶちんこでえ♡」

「んおッ♡ おッ♡ おッ♡ あらやダッ…さっきの精子がこんなに溢れてくるう♡」

「そ、そのまま…密着したままあ…ザーメンだらけの子宮の中あ…そうよお」

「確実に着床するように…ぐりぐり…って、ちんぽで…攪拌してよお♡」

「はッ、ぐう……ッ…んおッ♡ ほッ♡ おお………おお………ッ♡」

「おちんぽミキサーすっごい♡ 精液が泡立って、子宮に染み込んでくるう♡」

「今度は突き込んで…ええ…ママのおまんこ、壊れちゃうくらいに激しく…」

1908
1909
1910
1911
1912
1913
1914
1915
1916
1917
1918
1919
1920
1921
1922
1923
1924
1925
1926
1927
1928
1929
1930
1931
1932
1933
1934
1935
1936
1937
1938
1939
1940
1941
1942
1943
1944
1945
1946
1947
1948
1949

SE:ぐちゅゝつとした挿入音。

「最後の一滴まで搾り取られてから言っしてほしいわね」

・人間とエルフでは受精し辛いからもう一発と、騎乗位で搾り取るように犯す。

SE:リズムミカルな出し入れ音。尻がぺちぺちなる感じ

「せゝの！ んんッ：おッ♡ ふッ♡ ふッ♡ ふッ♡ んふう♡」
「なに言ってるのよゝゝんふう♡ 若いんだからまだ出せるでしょゝ？」
「だったら本気出しちゃおっかなゝゝイキまくりのママまんこでゝ」
「キュッ♡ キュッ♡ キュッ♡ キュッ♡ くっちゅくちゅゝっ♡」
「欲しがりママまんこのおちんぼ扱きゝ♪ 追加の精子上がってきたゝ？」

「あらあら、気持ち良過ぎて泣いてるのゝ？ ふうッ：ふうゝゝッ♡」
「あらヤダ！ こんなに締めたら、ママも気持ちよくなつてゝんッ♡」
「先にイッてもいいかしら？ ええ、でも好きな時に出してね♪」
「ふうッ♡ ふうッ♡ ふうゝゝッ♡ ふッ、ふッ、ふッ：んくッ！」

・と、母乳が噴出。もう受精しちゃったのかしら？と喜ぶ。

SE:母乳が噴出する音

「イグウッ：おッ!? イッ、グウゝゝゝゝゝゝッ♡」
「んひゃあん!? なになに？ どうして母乳が噴き出してるのお!?」
「も、もう受精しちゃったの？ ママのほうが先に出しちゃうなんてゝ」

・主人公が乳に吸い付いて授乳生ハメ。

SE:ガバッと抱き着く音&激しい出し入れ音&母乳を吸うちゅぱ音

「はあん♡ ヤダッ、そんなに母乳が吸いたかったの!?」
「あゝあゝゝゝッ：母乳をぢゅーぢゅー吸われる感覚うゝこれすごいい♡」
「当然よ、もっと吸って♡ ミルク吸いながら犯して♡ ああゝゝゝん♡」
「はあッ♡ はあッ♡ ああゝゝゝッ：んおッ♡ おほおゝゝッ♡」
「ママにもミルクちょうだい♡ おまんこに：おちんぼミルクう♡」
「ぜゝんぶ子宮で吸い取ってあげるから：たっぷり飲ませてよお♡」
「どろっどろに濃くて、ビンビンに活きのいい：オスミルクうゝゝッ♡」
「あえゝゝゝッ♡ あひッ、おおゝゝゝッ♡ おおゝゝゝゝゝゝッ♡」
「アクメ、クルッ：イグッ♡ いっしょに、いっしょに、いっしょに♡」
「いいわね？ 同時にアクメエ：おおゝゝゝッ：せゝのッ!!」

1950	
1951	・ 激しく母乳を吹き出しながら大量中出し。
1952	
1953	SE:中出し音&母乳の吹き出し音
1954	
1955	⑥ 接上
1956	・ 頭に抱き着いてる感じ 「んッッッ、ほお—————」
1957	「おおッ…また、ミルク…吹き出しちゃってるう〜♡」
1958	
1959	SE:密着していた汁まみれの肌がぐちよ〜と離れる音
1960	
1961	⑥ 接上→⑥ 近
1962	
1963	
1964	
1965	・ これからもよろしくね…旦那様♡と、キス。
1966	
1967	「でも、こんな私で、ホントにいいの？」
1968	・ 間
1969	⑥ 近→⑥ 接
1970	
1971	
1972	
1973	
1974	
1975	
1976	
1977	
1978	
1979	
1980	
1981	
1982	
1983	
1984	
1985	
1986	
1987	
1988	
1989	
1990	
1991	

「嬉しい…愛してるわ。これからもよろしくね…旦那様♡ ちゅっ♡」

1992	
1993	
1994	
1995	
1996	
1997	
1998	
1999	
2000	
2001	
2002	
2003	
2004	
2005	
2006	
2007	
2008	
2009	
2010	
2011	
2012	
2013	
2014	
2015	
2016	
2017	
2018	
2019	
2020	
2021	
2022	
2023	
2024	
2025	
2026	
2027	
2028	
2029	
2030	
2031	
2032	
2033	
	<p>【未亡人褐色エルフママの甘々エッチな恩返し(仮)】</p> <p>◆トラック名</p> <p>06:『孕み褐色エルフ妻のラブラブママミルクセックス』</p> <p>◆トラック説明</p> <p>場所:アパートの主人公の部屋</p> <p>キャラ:ミルム</p> <p>マイクの位置:胸の位置</p> <p>・帰宅してきた主人公。</p> <p>鍵を開けてドアを開けると出迎える。</p> <p>SE:ドアが開く音&パタパタと走り寄る足音</p> <p>「おかえりなさい！ ア・ナ・タ♡」</p> <p>「もゝ、8時間以上も会えなくてすごく寂しかったわゝ」</p> <p>・部屋に入り、着替えてる主人公に何か忘れてると要求してお帰りのちゅー。</p> <p>SE:靴を脱いで部屋に上がる音</p> <p>SE:ネクタイを抜く音&少し歩く音</p> <p>・前方向を向いて。横に並んで歩いています</p> <p>「はい、お疲れ様。今日も忙しかったみたいねゝ」</p> <p>「ところでアナタ:何か忘れてないかしら？」</p> <p>・間</p> <p>「そうそう、それよゝ！ お帰りなさいのちゅゝっ♡」</p> <p>「んっ:はい、改めて、お帰りなさい♪」</p> <p>SE:服を脱いでる音&胸元に抱き着いた音</p> <p>「それでゝ:食事にする？ お風呂にする？ それともゝ:きゃあん!？」</p> <p>・おっぱいが欲しいとの要求に</p>

結婚したのにいつまで経っても赤ちゃんでちゅね〜と、赤ちゃんプレイ開始。

SE:胸に顔をこすりつけている音

・少し左右に顔を振りながら

「お、おっぱいってどうしてよお〜ッ!」

SE:乳を揉んでいる衣擦れの音

「もうホントにいつまで経ってもおっぱい好きの赤ちゃんなんだから〜」

「はいはい、勿論よ…大好きなママおっぱいを好きなだけどぞ♡」

SE:移動してる音&服を脱がす音&ベッドに倒れこむ音

「あら？ あらあら！ あらヤダ、そんな…あん、ちょっとお♪」

・おっぱいを吸われてからかいながらベッドに移動して授乳手コキ。

SE:乳をしゃぶる音

「ああん♡ そんなに吸いついて…おっぱいが大好きなんでちゅね〜」

「そうよ〜、アナタがママにしたんだから、ミルクが出るのは当然でしょ？」

「ふう…ふう…褐色エルフミルク、そんなにおいしいでちゅか〜」

「クスッ…だったらあっちのベッドで、あなたのミルクもママに頂戴ね〜」

・まんこを触られるが、赤ちゃんはそんなことしないでしょ？とたしなめられる。
赤ちゃん扱いでねっとりから激しい手コキへ。

SE:移動する音

「はいはい、わかってるわよ。おっぱいも欲しいんでちゅね〜…あん♡」

SE:ゆっくり目の手コキ音&乳を吸う音

「そうよ〜…アナタが大好きな授乳おちんぽしこしこでちゅよ〜」

「おちんぽしっこしっこ♡ おちんぽしっこしっこ♡ しっこしこ♡」

「んッ…んッ…んッ…あふう……んんッ♡ はあ……はあ♡」

「でも、そんなにおっぱい吸われたら…んッ…赤ちゃんの分が無くなっちゃうわよ？」

SE:へちゅっ、とまんこに触れた音

2076	
2077	
2078	
2079	
2080	
2081	
2082	
2083	
2084	
2085	
2086	
2087	
2088	
2089	
2090	
2091	
2092	
2093	
2094	
2095	
2096	⑦近→⑦中
2097	
2098	
2099	
2100	⑥近
2101	
2102	
2103	
2104	⑥接
2105	
2106	⑥接→⑨接
2107	
2108	
2109	
2110	
2111	
2112	
2113	
2114	
2115	
2116	
2117	

「あぁん♡ ママのおまんこ弄っちゃダメ！ 赤ちゃんはそんなことしないの！」

SE:早めの手コキ音

「大人しくママのおっぱい吸いながら、おちんぽミルクをびゅーちまちようね」

「おちんぽしこし♡ おちんぽゆっぴゅ♡ しこ♡ しこ♡ しこ♡ しこ♡」

「イクわよ…：せゝの！ しこしこしこしこしこしこしこしこしこしこしこしこおッ♡」

・おちんぽミルク射精。

SE：射精音

「はい、どっぴゅう~~~~~~~~うん♡」

・一拍遅れて母乳も噴き出して母乳まみれになる。

SE:母乳が噴き出す音

「キャッ!? あらヤダッ！ ちょっと待って、どうしてッ!？」

・のけ反り

「んッ、ふう~~~~~~~~ッ!!」

「ふう…ふう…こ、こんなにおっぱいが噴き出しちゃうなんて…」

「クスッ…アナタの顔にもたくさんミルクがかかったわね」

・顔や耳を舐める。

「れろおゝん…ちゆるっ…れろお…ちゆるん…れつれろおゝん♡」

「ちゅっ、ちゅっ♡ お耳の中も…るろっ、ぐりゅりゅりゅゝ…：るん♡」

・母乳ローションで全身をぬるぬるにして、今度は私がのませてもらうわね、と挿入。

SE:密着した肌同士で母乳がぐちゅぐちゅしてる音

「んふっ♡ ま、まだこんなにミルクが滴っちゃう…：ちゆるっ…だったら」

SE:全身にローションを塗るような音

「こーやって…ちゅっ、ちゅっ…ママミルクを体中に塗って…ウフフ」

「おちんぽにもおまんこにも、たっつぷり塗りたくって…くふうん♡」

2118

SE:ぐちよぐちよと体勢を変える音

2119

2120

2121 ⑨接→⑥近

2122

「さ、今度はママのこっちのお口にも、ミルクをたっぷり飲ませてもらうわよ♡」

SE:ぐちゅう～～～つとした挿入音

2123

2124

「いっただきま～～～す♡ きゃうう～～～～♡」

2125

2126

・挿入して出し入れ。ぐちゅぐちゅした音。

2127

2128

SE:ぐちゅ、ぐちゅ、と汁気のある深い出し入れ音&全身のローション音

2129

2130

「はあッ♡ はあッ♡ はあッ♡ 体中、ミルクまみれでぐちよぐちよ♡」

2131

2132

「ママミルクと、おちんぽミルクが…おまんこの中でシェイクされてるわよ♡」

2133

「ああ～～～ッ…孕みまんこセックスって、すぐぐく幸せな気分ね♡」

2134

「え？ ああ、おっぱいね？ 勿論いいけど…クスッ」

2135

「今日はアナタの顔を、このミルクまみれおっぱいで挟んであげましゅね♡」

2136

・おっぱいが好きなのをバカにされながら、顔面をパフパフしながら出し入れ。

2137

2138

SE:密着したまま上体を起こす音

2139

2140

SE:ハルクまみれの巨乳の間に顔をうずめる音&そのまま乳で挟む音

2141

2142

2143 ⑥近→⑥接上

2144

「はっ、ぱっふうん♡ もみ、もみ、もみ♡ ぱふ、ぱふ、ぱっふうん♡」
「どうでちゅか？ 大好きなおっぱいに挟まれてうれいでちゅか？」

2145

「ぱっふうん♡ ぱっふうん♡ そうでちゅか、よかったでちゅね♡」

2146

SE:上記の音&下から激しく突き上げる音

2147

「ああん♡ 興奮してるのお？ そんなにお尻を驚掴みにして突上げちゃってえ♡」

2149

「ふうッ♡ ふうッ♡ ふうッ…んッ…くうん♡ うう～～…うう——ッ♡」

2150

「も～、だったらママもお返ししちゃうわよ？」

2151

「アナタの顔を、おっぱいまんこで…おちんぽみたいに扱っちゃうんだから♡」

2152

2153

SE:ハルクまみれの乳で顔を挟んで激しく扱く音

2154

2155

「ふん♡ ふん♡ ふん♡ ふん♡ んッ…んふう～～…しこしこ♡ しこしこ♡」

2156

「え？ も～、やっぱり赤ちゃんね…はいはい、好きなだけごっくんしてね♡」

2157

2158

・授乳しながらフィニッシュ体勢。

2159

2160
2161
2162
2163 ④接上
2164
2165
2166 ④接上→⑧接上
2167
2168
2169 ⑧接上→⑥接上
2170
2171
2172
2173
2174
2175
2176
2177
2178
2179
2180
2181
2182
2183
2184
2185
2186
2187
2188
2189
2190
2191
2192
2193
2194
2195
2196
2197 ⑥接上→⑥接
2198
2199

SE:激しい乳吸い音&ばちゅんばちゅん!と水気のある激しい出し入れ音

「ふう…ふう…ふう…んッ♡ あうッ…ん…ッ…ふッ、ふう…ッ♡」

「もうすぐパパになるのに…いつまでも甘えんぼの赤ちゃんなんだからあ…」

「ひゃあん♡ こ、今度は…あはあん♡ そっちのおっぱいなの?」

「子供が生まれたら、ちゃんとママのおっぱいを分けてあげるんですよ?」

「え? ひゃあん!? あらヤダッ、そんな! 乳首、両方とも独り占めえ!」

「あふう——ッ♡ 両方乳首い…そんなにぢゅうぢゅう吸わないでえ♡」

「そ、そうよお♡ ママのおっぱいは、どっちも…アナタのものよお♡」

SE:出し入れ音、一番激しく早く

「ああ…ッ…うう…ッ…くひッ♡ んぎい…ッ…ひいん♡」

「イクッ♡ イクッ♡ もうママイツちゃうッ…ママまんこ、限界なのお♡」

「そ、そうよお♡ おっぱいもおまんこも♡ もうずっとイキ続けているのお♡」

「出している? 出している? ママもおっぱいミルク射精してもいい?」

「アナタのお口に、ママミルク口内射精しながら思いつきアクメしていい?」

「あ、あ…ッ…おお…ッ…おッ♡ おッ♡ おお…ほごおッ♡」

「イグッ…あひいッ♡ イグイグッ…んほッ♡ イッ…グッ♡ こほお——…」

「まんこイグまんこイグまんこイグまんこイグまんこイグまんこイグまんこイグッ♡」

・中出しと母乳噴射イキ。

大量の液体がびちゃびちゃと吹き出す。

SE:中出し音&母乳が噴き出す音

「イイイイイイッッッ、グウウウウウウウウウウウウッ♡」

SE:乳がぼたぼた垂れる音&精液が逆流する音

「おほお…ッ…おッ♡ んほおッ…お、お———ッ♡」

SE:ふっつと肌が擦れる音

「え? なによ今さら…え? そ、そう…も、恥ずかしいこと言って」

「ええ、これからもず…つとよろしくね…私も愛してるわ♡ ちゅっ♡」